

記事内容

- ☆小林会長年頭挨拶
- ☆STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現 労働者保護ルール改悪阻止 12.5 全国統一集会 in 埼玉
- ☆第47 回衆議院議員選挙結果
- ☆青年委員会定期総会報告 / 女性委員会定期総会報告
- ☆連合寄付講座 / 2014 教育フォーラム
- ☆ネット21 運動ボランティアカード受付 / ネット21 運動インターンシップ体験報告会
- ☆テレビ CM 案内 / お詫びと訂正 / 1 月の行動日程
- ☆あけぼのビル

2015年 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

～小林会長 年頭所感～

ぐんやう か もう こ せ 群羊を駆りて 猛虎を攻む

連合埼玉会長
小林直哉



明けましておめでとうございます。連合埼玉の皆様には、良いお年を迎えられたことと存じます。また、日頃の連合埼玉の諸活動に対するご協力に感謝申し上げます。

連合埼玉は昨年12月16日で結成25年を迎えました。結成大会で初代会長の服部光朗さんは「組織も個人もエゴを捨て、ヒューマニズムを基本に、労働者福祉の実現に向け連合運動を進めたい」と宣言しました。結成の原点を一人一人がもう一度自覚し、明るく元気に運動を進めたいと思います。

☆ ☆ ☆

さて、今年最大の課題は何と言っても「STOP THE 格差社会」の取り組みです。現在、日本の貧困率は先進国の中でワースト6位、非正規で働く人の割合は4割に迫ろうとしています。そして、年収200万円以下の労働者は1120万人で、実に、働く人の4人に1人という実態です。経済的理由で、結婚や出産をあきらめなくてもよい社会こそ、少子・高齢社会が進む今の日本には必要です。そのためには、何としても格差の拡大をストップさせなければなりません。

本来は、政治が全力で格差是正に取り組むべきですが、安倍政権は逆の道を暴走しています。昨年末の衆院選は、そんな流れを止める選挙のはずでしたが、結果は残念ながら与党の圧勝でした。労働者保護ルールの改悪や社会保障の後退が心配されます。連合埼玉は、すべての働く者の声を集め、「STOP THE 格差社会」の運動を強化していきます。

間もなく始まる春闘も重要です。生活必需品が軒並み値上がりする今、働く者の実質賃金は16カ月連続でマイナスです。何としても私たちの生活を守るため賃金引き上げは不可欠です。連合は、定期昇給に加え、ペア2%以上の統一要求方針を決定しました。連合埼玉は、全ての勤労者の処遇改善、特に賃金の引き上げにこだわり、取り組みをおこなっていきます。また、格差の温床となっている非正規で働く仲間のためにも、埼玉県の最低賃金引き上げに

全力で取り組みます。

☆ ☆ ☆

組織拡大も喫緊の課題です。連合は2020年までに1000万連合の達成をめざしています。私たち連合埼玉も現在の18万人をできるだけ早い時期に20万人に拡大したいと思います。一人ひとりでは弱い立場の労働者も、結集すれば大きな力になります。いわゆる「ブラック」と思われる企業・職場で働く仲間を守るためにも、連合の旗の下に集う呼びかけをしていきます。

☆ ☆ ☆

政治への取り組みも重要です。地方自治体においては、人口減少、高齢化が急速に進展する中、産業構造の変化、厳しい財政運営を背景に医療・介護、子育て支援、雇用環境などの地域間格差も浮き彫りになっています。地域社会は、地域住民・勤労者の生活の基盤です。連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、地方分権とナショナルミニマムの確保、地域産業の活性化と雇用・労働条件の維持・改善など、地方議会における諸政策・制度の実現がますます求められています。

第18回統一地方選挙は、「働くことを軸とする安心社会」をはじめとする連合の政策実現に向け、「働く者・生活者」の立場にたった地域の政治勢力拡大をはかる重要な選挙です。国政における自民一強の現状、民主党の支持率低迷など、極めて厳しい情勢にありますが、連合埼玉の総力を結集し、推薦候補全員の当選をめざしていきます。

今年は未年です。羊にちなんだ言葉に、「群羊を駆りて猛虎を攻む」があります。たとえ一人の力は弱くとも集合すれば強い力を発揮できる、の意味だそうです。

連合埼玉は39構成組織、12地域協議会、780組合が力を合わせ、組合員皆さんと一体となって、諸課題に果敢に挑戦していきたいと思います。

労働者保護ルール改悪阻止!

～ 全国縦断アピールリレー ゴールをむかえる ～

12月5日(金)、さいたまスーパーアリーナTOIROにおいて、「『労働者保護ルール改悪阻止!』働く者・生活者のための政治勢力拡大をめざそう!12.5全国統一集会in埼玉」を構成組織・加盟組合239名参加のもと、開催した。

この集会は、9月25日より「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーンの一環としておこなってきた「全国縦断アピールリレー」のゴールにあわせ、政府が進めようとしている労働者保護ルール改悪の動きに歯止めをかけるべく、あらためて意思表示をおこなうものである。

学習会では、労働条件や健康の確保、最低賃金制度の適切な運営について、また過労死・労働災害の防止軽減などに関する埼玉労働局の取り組みの紹介を受け、労働にまつわるさまざまな法整備と運用の適正化が非常に重要であることを学んだ。

全国集会(インターネット中継)では、広く世論喚起をおこなってきた「全国縦断アピールリレー」のゴールの様子とともに、労働法制をめぐる国会情勢などが報告され、労働者保護ルール改悪阻止にむけた思いをあらたにした。

第47回来議院議員選挙で政権与党である自公両党が圧倒的多数を維持したことから、働く者・生活者の将来の安心のためには我々働く者自身が「労働者保護ルール改悪阻止」や「2015春季生活闘争」「第18回統一地方選挙推薦候補者の支援」など今後の活動を強化し、しっかり取り組んでいく必要がある。



主催者挨拶をおこなう小林会長



会場風景

プログラム

1. 主催者挨拶
2. 過労死等防止に関する学習会
「過労死等防止対策推進法を踏まえた取組みについて」
講師: 布施 武雄 氏
(埼玉労働局労働基準部監督課 主任監督監察官)
3. 全国統一集会(インターネット中継)
4. 集会アピール
5. ガンバロー三唱

労働者保護ルール改悪阻止「全国縦断アピールリレー」in埼玉



東松山駅東口



川越駅東口



南越谷駅南口



JR行田駅東口

9月25日から12月5日まで全国の地方連合会をリレーしながらアピールをおこなってきた「全国縦断アピールリレー」において、前号で既報のとおり、連合埼玉では11月20日に連合千葉からリレーを受け、11月25日に連合山梨にリレーするまでの期間、県内全域632kmを走破しながら、48ヵ所で精力的に街宣行動をおこなった。

特に11月21日には、すべての地域協議会との連携のもと県内23ヵ所の駅頭で一齐同時刻に街頭宣伝活動を実施し、広く県民にアピールをおこなっている。

第47回衆議院議員選挙(12月14日投開票)

連合埼玉推薦候補者4名が当選

連合埼玉 推薦候補者10名の結果は、選挙区で2議席、比例復活2議席の合計4議席の確保にとどまり、改選前より1議席を増やしたものの、厳しい結果となりました。また、民主党の全国での議席数は62議席から73議席と11議席の増となっています。

また、投票率は全国で52.66%と前回の59.32%を大きく下回り、戦後最低を更新し、埼玉県においても51.97%と最低を更新する結果となっています。

今回の選挙は、非常に短期間で選挙戦に突入し、準備不足の厳しい状況でありながら、各構成組織ならびに地域協議会の皆様、さらには単組、支部、分会の役員、組合員の皆様におかれましては、これまでの国政選挙では経験のない程の取り組みを進めて頂きました。ご支援・ご協力に改めて感謝申し上げますとともに、心からお礼申し上げます。

連合埼玉推薦候補の当選者



第1区 たけまさ 公一



第5区 えだの 幸男



第6区 大島 あつし



第7区 こみやま 泰子

連合埼玉 推薦候補 各選挙区の結果

埼玉県全体の当日有権者数:5,906,854人、投票率:51.97%、前回は57.40%

(全国の投票率:52.66%、前回は59.32%)

第1区 見沼区・浦和区 緑区・岩槻区	第3区 草加市・越谷市	第4区 朝霞市・志木市 和光市・新座市	第5区 西区・北区 大宮区・中央区	第6区 鴻巣市(旧川里町除く) 上尾市・桶川市・北本市・伊奈町
たけまさ 公一	細川 律夫	神風 ひでお	えだの 幸男	大島 あつし
82,857票(比当) 投票率53.23%	75,715票(次点) 投票率48.71%	62,062票(次点) 投票率53.34%	90,030票(当選) 投票率55.54%	103,918票(当選) 投票率54.05%
第7区 富士見市 ふじみ野市(旧上福岡市域)	第8区 所沢市・ふじみ野(旧大井町域) 三芳町	第12区 熊谷市(旧江南町域除く) 行田市・加須市・羽生市 鴻巣市(旧川里町域)	第13区 春日部市(旧庄和町域除く) 久喜市(旧久喜市域・旧菖蒲町域) 蓮田市・白岡市・南埼玉郡宮代町	第15区 桜区・南区 蕨市・戸田市
こみやま 泰子	おのづか 勝俊	本多 平直	山内 康一	高山 さとし
73,513票(比当) 投票率51.60%	61,711票(次点) 投票率54.27%	41,407票(3位) 投票率52.01%	44,916票(次点) 投票率51.18%	60,671票(次点) 投票率51.42%

比例北関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉)の結果

関東ブロックの民主党得票数:1,049,602票、得票率17.8%、9政党中2位、4議席当選

(埼玉県の民主党得票数:535,010票、得票率17.81%、9政党中2位)

北関東比例当選者

武正公一(埼玉)、小宮山泰子(埼玉)、宮崎岳志(群馬)、福島伸享(茨城)

青年層の自由な発想をもとに、魅力あふれる青年委員会へ!

“青年委員会”第26回定期総会

11月28日(金)、あけぼのビルにおいて“青年委員会第26回定期総会”が開催され、2014年度活動・会計報告、2015年度活動方針案・予算案・役員選出の全議事が満場一致で承認された。

冒頭、矢口青年委員長より「安倍政権は、残業代ゼロ法案の議論や「生涯派遣で低賃金」になりかねない労働者派遣法改正案の国会提出など、労働者保護ルールの改悪を推し進めようとしている。働く者の立場に立って、安全・健康・ゆとり・働きがいを担保していかなければならない。また、労働組合が政治活動をおこなう意義を学び、政治は無関係でも無関係ではいられないということを感じ取れる、青年委員会をつくり出していく。」と挨拶があった。また、来賓として連合埼玉佐藤事務局長ならびに、民主党埼玉県連 三神尊志市民・青年局長より挨拶を頂いた。

議事に入り全ての議事が満場一致で可決された。そして議事終了後、退任役員挨拶にて「連合埼玉青年委員会活動を通して他の構成組織の方と触れ合うことができた。これが一番の財産になり、ここでの経験を糧にしながら今後の活動に活かしていきたい。」との言葉があり、最後に矢口委員長の“団結ガンパロウ”にて総会を終了した。

総会終了後には、総会参加者にも参加いただき、交流懇親会を開催し、日ごろ交流のない構成組織青年層が様々な話題で盛り上がり無事に終了した。



連合埼玉 佐藤事務局長



民主党埼玉県連 三神尊志市民・青年局長

■2015年度役員体制について

役職名	氏名	出身産別
委員長	矢口 昌広	JR総連/JR東労組大宮地本
副委員長	梶原 健太	電機連合/東光労働組合
事務局長	篠原 一政	情報労連/NTT労組北関東総支部
事務局次長	葛西 健一	JAM埼玉
幹事	磯山 英行	自動車総連/本田技研労組埼玉支部
	斎藤 真一	UAセンセン/ベルク労働組合
	近藤 隼人	自治労/越谷市職員組合
	坂本 敏雄	JP労組/JP労組埼玉連協
	沼田 賢洋	電力総連/東京電力労組埼玉支部
	石井 一行	印刷労連/凸版印刷労組TCP支部
	江郷 俊太	JEC連合/富士フィルム労組
	川島 貴至	運輸労連/全日通埼玉支部
	前田 雄輝	JR総連/JR東労組大宮地本
	竹田 修	化学総連/DIC労組埼玉工場支部
	牛橋 雅俊	全国ガス埼玉/東京ガス労組
	海原 崇人	政労連埼玉/雇用支援機構労組
中川 摂也	森林労連/林野労組埼玉森林管理事務所	
天沼 毅大	建設埼玉	

■退任役員

役職	氏名	加盟組合名
事務局次長	佐藤 洋太	UAセンセン/ベルク労働組合
幹事	下入 隆行	自動車総連/本田技研労組埼玉支部
	山本 真哉	自治労/北本市職員労働組合
	佐々木 泰平	JP労組/JP労組埼玉
	粟津 直平	JEC連合/富士フィルム労働組合大宮支部
	中洞 成人	基幹労連/MMCスーパーアロイ労働組合
	高井 智史	国公総連/全農林関東地方埼玉分会
	徳永 悠	化学総連/昭和電工ユニオン秩父支部
	福元 義紀	全国ガス/東京ガス労働組合

働く女性一人ひとりが生き生きと働き続けることができる社会に。

“女性委員会”第26回定期総会を開催

12月4日(木)あけぼのビルにおいて「女性委員会第26回定期総会」を開催し、2014年度活動・会計報告ならびに2015年度活動方針案・予算案・役員選出の全議事が満場一致で承認・決定された。

上杉委員長は、「女性が妊娠・出産後も働き続けられるよう法制度が整備されてきてはいるが、マタニティハラスメント(マタハラ)などが問題視されるなど、働き産み育てる環境が整っているとは言い難い。女性委員会では、連合が6月に実施する全国一斉相談ダイヤルへの対応をしてきた。また、働く女性の多くが不安定・非正規雇用であり、男女平等の諸課題の改善に向けた取り組みべき課題が多くある。本日参加された代議員の皆さんも、女性委員会の活動や、わたしたち働く女性自身の課題解決に向けた取り組みへ積極的に参加してほしい。」と述べた。

その後、連合埼玉代表として男女平等参画推進委員会委員長の持田副会長に、来賓として民主党埼玉県連 畠山稔 幹事長にご挨拶をいただいた。

総会終了後には、明年4月に施行が予定されている第18回統一地方選挙において連合埼玉が推薦する女性の推薦候補者にも参加していただき、パーソナルカラーリストを講師に迎えて、「自分色をみつめる『パーソナルカラー診断』」を開催した。自分に似合う色、似合わない色を知ることが、第一印象をあげることに繋がる。今回のセミナーでは、幹事をモデルに、具体的に似合う色をどう探すのか、合わせるポイントを教えてもらいながら、春夏秋冬に例えたそれぞれの「自分色」を見つけることができた。



上杉委員長挨拶



パーソナルカラーって?



参加者全員で。

■2015年度役員体制について

役職名	氏名	出身産別
委員長	上杉 裕子	電機連合/沖電気工業労組
副委員長	新山 元子	運輸労連/ヤマト運輸労組
事務局長	上杉 裕子	※委員長兼務
幹事	大畑 幸子	自動車総連/シーケーエンジニアリング労組
	齋藤 舞	UAセンセン
	福田 祐子	JAM埼玉/アーレスティ労組
	松田 典子	自治労/越谷市職員組合
	半田 純子	JP労組埼玉連協
	菅原由美	電力総連/東電労組
	古賀 初代	印刷労連/リーフルテック労組
	石岡 真弓	JEC連合/富士フィルム労組
	村山 実子	国公総連/全財務関東地方埼玉支部
	滝沢千恵美	埼玉教組
	飯島美紀子	政労連/雇用・支援機構労組
	渋谷 志保	建設埼玉

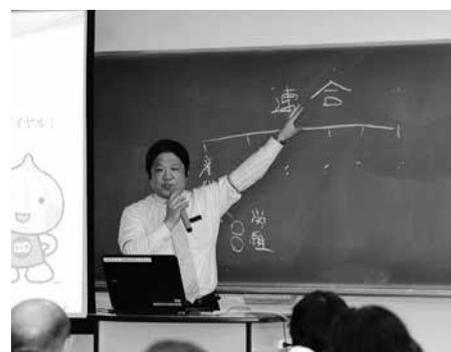
■退任役員

役職名	氏名	出身産別
副委員長	伏見美千代	UAセンセン/花菱縫製労組
事務局長	吉川 和美	JAM埼玉/日本ビストンリング労組
幹事	成田 美香	自動車総連/ホンダ販売労組
	内田真理子	自治労/小川町職労
	渡辺由美	国公総連/全農林関東地本

職場・地域での労働運動を学生に伝える

～ 2014年度後期埼玉大学連合寄付講座 ～

11月26日(水)埼玉大学経済学部において、連合寄付講座がおこなわれ連合埼玉の佐藤事務局長が「職場・地域の現状とその対応～地域で雇用と生活を守る～」をテーマに52名の学生に講義をおこなった。この埼玉大学寄付講座は、(公社)教育文化協会が主催し、連合ならびに構成組織、連合埼玉が協力し、「働くということと労働組合」をテーマに2014年10月から2015年1月にかけて大学生に対し、講義をおこなっている。まず初めに連合埼玉がおこなっている「既卒3年以内の就職面接会(埼玉労働局主催)」「ネットワークSAITAMA21運動」等の地域での活動を紹介し、次に「最低賃金」「労働セミナー」「労働相談ダイヤル」等の、安心して働くために最低限必要なことについて話をした。講義の中では、労働トラブルが起きないようにするため学生も労働法に関する基礎的知識が必要であり、もしアルバイト先において最低賃金以下で働かせている場合は責任者に言うこと、そして今後、社会人になり働く中でおかしいと感じることがあったら、連合労働相談ダイヤルに連絡をするよう学生に伝えた。講義最後に、学生からの質問では、「企業別組合と連合の違い」「運営はどのようにしているか」「最低賃金審議会の流れ」「労働セミナーやライフサポートの情報はどこでとれるのか」「最近ネットでの周知をしているが、パソコンを使わない老人等にはどう周知していくか」といった率直な疑問が投げかけられた。来年度以降も連合埼玉としてこの寄付講座に協力し、これから社会に出る学生に労働について考える場を提供していく予定である。



講義をする佐藤事務局長



学生からの質問を受ける佐藤事務局長

連帯と協同による消費者教育を考える

～ 教育フォーラム2014開催 ～

11月6日(木)ときわ会館において、連合埼玉、埼玉県労福協主催で「教育フォーラム2014」を開催した。今年度は「消費者問題!身近にひそむ危険から身を守るために」と題し、TVでもおなじみの住田裕子弁護士から身近な事例を交えながら講演をいただいた。

その後、埼玉県消費生活支援センターの武澤真紀担当部長より「地域や職場・学校における消費者教育推進に向けて」、日弁連消費者問題対策委員池本誠司弁護士より、「埼玉県内の消費者施策と消費者教育、高等学校等における消費者教育の現状と今後の課題」について、さいたま市消費生活総合センター古川美保相談員より、「昨今の消費者生活相談の特徴と課題」について、行政、消費者教育、消費者相談の立場より現在の動向や課題について話があり、最後に参加者からの質疑応答で締めくくられた。



挨拶をする小林会長



講演:住田裕子弁護士

ネットワークSAITAMA21運動(ネット21運動)

2015年度ボランティアカード 普及・拡大キャンペーン!

ネットワークSAITAMA21運動って?

「ネットワークSAITAMA21運動」は、連合埼玉と埼玉労福協が推進母体となって2004年より展開しています。勤労者の暮らしを生涯にわたってサポートする運動や子育てや介護をはじめ、地域社会で解決しなければならない問題に取り組むため、個別企業の枠を乗り越えた労働運動や労働者福祉運動と、埼玉県内の様々なNPOや市民団体への支援と連携をつうじ、働く者と地域の市民が出会い、理解しあって、勤労者の生活と暮らしを支え合う「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。



なぜ、ボランティアカードなの?

ネット21「ボランティアカード」は、「ネット21運動」への協力の証として発行されるもので有効期限は2015年4月1日から2016年3月31日です。ご協力をいただいたカード協力金(500円)の内、契約料やカード代などを差し引いた額が「ふれあいコミュニティ・ファンド」に自動的に寄付され、各種暮らしの応援セミナーやNPOへの支援など、様々な事業に活用されています。なお、ボランティアカードはAタイプ(約200円がコミュニティ・ファンドへ寄付)とBタイプ(約400円がコミュニティ・ファンドへ寄付)があり、Aタイプのみリポートソリューションのサービスが付いております。

ネットワークSAITAMA21「ボランティアカード」は付属サービスがいっぱい!

Aタイプカードは、リポートソリューション株式会社(リソル)との提携により、全国の契約施設(ホテル・レジャー)、スポーツやレクリエーション、生活サービス、健康・医療、育児・教育、介護まで様々な生活関連のサービスが割引価格で利用できます。またAカードBカード共通のサービスも埼玉県内を中心に「観光・レジャー」「グルメ」「趣味・スポーツ」「暮らし応援」等のサービスが受けることが出来ます。詳細はホームページ(<https://net-saitama21.jp>)でご確認ください。

普及・定着のための説明会を開催させてください!!

各構成組織、各加盟組合にて説明会を開催させてください。皆様の会議等でお時間を頂ければ、事務局を派遣し、説明をさせていただきます。ぜひ、お声掛けください!

実際のNPO活動を通じて感じたことを共有する

～ 勤労者のためのNPO体験事業(インターンシップ)報告会 ～

12月20日(土)あけぼのビルにおいて、ネットワークSAITAMA21運動の一環でおこなっている「勤労者のためのNPO体験事業(インターンシップ)」報告会を開催した。今年度は、体験者4名が4団体に訪問し、3日間、実際にNPOの活動現場でNPOで働くスタッフやボランティアと同じように活動を体験した。

報告会には体験者4名と受入れ団体2団体3名が出席し、体験者からは「知らないことを知るきっかけになり貴重な体験ができた」等の感想が報告された。また意見交換では、「3日間の経験では短すぎるので7日間位来てもらわないとNPOの活動は理解できないのではないか」「定年後すぐ、地域で活動できる人を育てるためのネットワークを作り、双方のマッチングをしてはどうか」等、次年度以降の活動に対し受入団体、体験者から要望がなされ、報告会は締めくくられた。



修了証書授与後、参加者で記念写真

連合埼玉テレビCM 放映決定!

連合埼玉では、広く社会に連合埼玉の活動や、めざす社会について紹介するテレビCMを製作しました。
今回、CMの製作・放映することにより、様々な活動をつうじて発信している連合埼玉の取り組みや考え方をアピールし、埼玉県内における連合埼玉の認知度の向上をめざします。
今回製作したテレビCMは、下記のチャンネルで放映されます。是非、ご覧ください。

放映テレビ局：テレビ埼玉（地デジ3ch）
放映時間帯：1日1本、月間20本（1日24時間の中で、ランダムに放映）
放映期間：2015年2月上旬から、1年間

※詳細な放映時間等については、わかり次第、連合埼玉HP等にてご案内いたします。

お詫びと訂正

先月発行のマンスリー12月1日号に一部誤りがございました。
皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

【訂正箇所】1ページ 「2014年度活動方針決定」 ⇒ 「2015年度活動方針決定」
(誤) (正)

現在予定される1月の日程表です

1月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	木		
2日	金		
3日	土		
4日	日		
5日	月		連合2015新年交歓会(16:00~17:30・ラングウツドルーム)
6日	火		埼玉新聞社「新年賀詞交換会」(17:00~・浦和ロイヤルパインズホテル)
7日	水	①第2回四役・執行委員会(10:00~・13:00~・ときわ会館) ②2015新春のつどい(16:00~・ときわ会館)	連合本部「2015連合白書」学習会(13:30~・連合会館)
8日	木		①自治労埼玉県本部「2015旗びらき」(18:00~・さいたま共済会館) ②埼玉経営者協会「新年会員懇談会」(18:30~17:00・パレスホテル大宮)
9日	金		①情報労連「2015新春の集い」(15:00~・ときわ会館) ②建設埼玉「2015新春の集い」(15:00~・ラフレさいたま)
10日	土		①埼玉教組「2015旗びらき」(18:00~・さいたま共済会館) ②北埼玉地域協議会「地協委員会」(10:00~・羽生市民プラザ)
11日	日		
12日	月		電機連合「2015旗びらき」(18:30~・ホテル木暮)
13日	火		部落解放同盟埼玉県連2015年新年旗開き(16:30~・ホテルガーデンパレス)
14日	水		連合第6回地方連合会事務局長会議(13:30~・連合会館)
15日	木		東部地域協議会「旗びらき」(18:30~・アクシス春日部)
16日	金		①JLP労組「2015年旗開き」(17:00~・ときわ会館) ②全水道「2015年旗開き」(18:30~・さいたま共済会館) ③連合第2回広報・教育担当者会議(14:00~16:00・明治大学紫紺館)
17日	土		川越・西入間地域協議会総会
18日	日		
19日	月	①ネット21第5回運営委員会(13:30~・連合埼玉会議室) ②第1回ライフサポートステーション運営会議(15:30~・連合埼玉会議室)	
20日	火		①埼玉県私鉄「2015年団結旗開き」(18:00~・さいたま共済会館) ②県央地域協議会総会(東武バケットホール) ③熊谷・深谷・寄居地域協議会「地協委員会」旗びらき(18:00~・19:30~・キングアンパ(サダーホテル))
21日	水		
22日	木		①本庄・児玉郡市地域協議会「新春の集い」(18:30~・埼玉グランドホテル本庄) ②埼玉労福協「地域労福協代表者会議」(13:30~・ときわ会館)
23日	金		①さいたま市地域協議会「地協委員会」旗びらき(18:15~・19:30~・ときわ会館) ②秩父地域協議会「地協委員会」旗びらき(18:00~・19:30~・荷車屋会館)
24日	土		
25日	日		
26日	月	第1回官公労部門連絡会(18:30~・連合埼玉会議室)	埼玉県生産性本部「新春労使懇談会」(15:30~・埼玉会館)
27日	火	第1回地協議長・事務局長会議(15:00~・さいたま共済会館)	
28日	水	女性委員会「第1回幹事会」(18:00~・連合埼玉会議室)	連合非正規センター第2回地方連絡会担当者会議(14:00~18:00・連合会館)
29日	木		①JAM埼玉「2015躍進パーティー」(17:30~・パレスホテル大宮) ②JR総連「2015旗びらき」(18:30~・大宮)
30日	金		
31日	土	青年委員会「新旧引き継ぎ(第1回)幹事会」(10:00~17:00・連合埼玉会議室)	

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◆解散前と変わらぬ自民党1強

第47回衆議院選挙は、12月14日に投開票がおこなわれ、選挙戦序盤から報道されていた「自民党圧勝」の結果に終わった。自民党は単独で291議席を確保し、解散時より4議席減にとどめている。公明の35議席を加え、与党では3分の2にあたる317議席を超える326議席となった。一方、民主党は解散時の62議席から11議席増やし73議席を獲得したが、公示前に報道された100議席には遠く及ばなかった。その一因は、民主党が選挙戦をつうじて訴えた政策や政権運営に対する批判などに関して国民の期待を受け止めきれず、自民党への対抗軸となり得なかったことにある。

県内では、自民党が小選挙区で12議席、比例復活を含め15議席を獲得。民主党は維新の党との選挙区調整をおこなったが選挙協力までには至らず、小選挙区で2議席、比例復活を含め4議席となった。比例票は表のとおりであり、2012年と比較して、民主党は5千票増、自民党は8.7万票増、維新の党は19.7万票減、共産党は18.3万票増となっている。民主党は小選挙区15の内、候補者擁立は10選挙区のみとなり、比例票が伸び悩み、民主党候補空白区では3選挙区で共産党に負けている。

民主党は衆議院の過半数238に満たない198名の候補者擁立にとどまった。これは1998年の結党以来初めてのことであり、戦う前から政権奪回への意欲を有権者に示すことができなかった。2012年の衆院選で一強多弱の国会運営となり、安倍政権の暴走を野党が食い止められない状態が2年間続いていることに歯止めをかけるため、共倒れを避けようと維新の党との選挙区調整をはかったことはやむを得ないが、野党第一党である民主党の存在感が一層希薄になってしまったのではないかと懸念されている。

選挙戦において安倍首相は、国民に対し「この道しかない」と経済政策「アベノミクス」の継続を訴えた。しかし、安倍首相が訴えた「この道」は、どこに続く道なのか示すことはなく、野党は「アベノミクス」への批判に終始時間を費やし、進むべき道すら示すことができなかったのではないかと懸念されている。

◆戦後最低の投票率

今回の投票率は、全国52.66%（前回比▲6.66）、埼玉51.97%（前回比▲5.43）となり戦後最低の投票率となった。投票したくても一票を投じたい政党や候補者が見つからない。有権者の多くはそんな政治への不信感を抱き棄権を選択している。議会制民主主義の正統性を揺るがしかねない危機が迫っている。

投票率を改善するために、投票促進キャンペーンの実施、投票所の増設や利便性の高い場所に投票所を設けるなど、検討改善がおこなわれようとも、政党や候補者の魅力が乏しいままでは問題の根源が解消されるわけではない。

◆「常在戦場」の覚悟と準備を

衆議院は「常在戦場」の覚悟と準備が求められる。2012年の衆院選からの2年間を民主党の候補者はどのように活動してきたのだろうか。

民主党に強い追い風が吹いた2009年、小選挙区で14名が当選し政権交代を果たした選挙から一変して、2012年は自民党への追い風（民主党への逆風）が吹き、小選挙区当選1名、比例復活を含め3名にまで減少し安倍政権が誕生した。今回の選挙は無風の中での選挙と言えよう。政治において風は自然に吹くものではなく、吹かせるものである。しかも、日常の地道な活動があってこそその風でなければならない。

今回当選を果たした4名は、定期的に駅に立ち、様々な機会を自らつくり有権者との接点を持つ努力を怠ることなく活動してきた。与党の間は国の仕事を全うし、野党になれば地元での地道な活動から課題を拾い上げる。ましてや、落選中であれば地べたを這いずり回り、多様な声を聴かなければならないはずである。

民主党候補者は、常在戦場であることを肝に銘じ、脱「風頼み」を進め、捲土重来を期してもらいたい。民主党は、野党第一党としての責任を改めて自覚し、愚直に国民の目線で巨大与党への対抗軸を示し信頼を得ることで、今回の議席増を今後につなげるべく基盤強化に努めなければならない。

昼夜を問わず、懸命に選挙戦に取り組んだ多くの役員の方々に、そして組合員の皆さんに心から感謝申し上げる。また、4月の統一地方選挙の勝利をめざして引き続きの支援をお願いする。

2014.12.19

比例代表選出議員選挙(得票数・得票率)

比例	2012		2014		2014-2012	
	数	率	数	率	数	率
民主	529,984	16.04	535,010	17.81	5,026	1.77
自民	850,136	25.73	937,281	31.20	87,145	5.47
維新	619,534	18.75	422,737	14.07	-196,797	-4.68
共産	227,281	6.88	410,583	13.67	183,302	6.79